

第119回 有田国際陶磁展

Arita International Ceramics Competition

記者発表資料

119th Arita International Ceramics Competition 第119回

有田国際陶磁展

美術工芸品・オブジェ部門
Art Crafts and Objects Division
会場 / 佐賀県立九州陶磁文化館
The Kyushū Ceramic Museum

産業陶磁器部門
Industrial Ceramic Arts Division
会場 / 佐賀県陶磁器工業協同組合
Saga Prefecture Ceramic Manufacturers Cooperative

お問い合わせ
Inquiries
有田国際陶磁展事務局（有田町商工観光課）
Arita International Ceramics Competition Organizer (Arita Town Hall)
TEL.0955-46-2500

（イラスト：原画）
佐賀県立有田工業高等学校デザイン科 石橋 由美

4/29^{SAT}
5/2023 7^{SUN}

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

審査員名簿

美術工芸品・オブジェ部門

(50音順・敬称略)

氏名	所属	備考	推薦者
カノウ ミチオ 叶 道夫	日展特別会員 日本新工芸家連盟 副理事長	日展特別会員 京都市山科区	前田泰昭
キムラ ヨシロウ 木村 芳郎	日本工芸会 正会員	日本工芸会 広島県東広島市	今泉今右衛門
ハナザト マリ 花里 麻理	茨城県陶芸美術館	評論家 茨城県笠間市	今泉今右衛門

産業陶磁器部門

(50音順・敬称略)

氏 名	所 属	備 考
イマイ アキコ 今井 朗子	株式会社 世界文化社 執行役員	<p>学習院大学文学部国文学科卒業。 世界文化社入社後、『家庭画報』編集部配属。 その後、女性誌、ウェディング誌の編集長を経て、2004年より2009年まで『家庭画報』編集長をつとめる。</p> <p>現在は出版事業に加え、企業や団体のオウンドメディア運営、及び企業や団体が資産として保有する史資料のデジタル・アーカイブ事業も担当。</p> <p>2017年より、全国漆器協会主催「全国漆器展」の美術工芸品部門にて審査員をつとめる。</p>
チェ ゼブン 崔 宰熏	愛知県立芸術大学 美術学部 デザイン・工芸科 陶磁専攻 教授	<p>学歴:愛知県立芸術大学美術研究家デザイン専攻修了 職歴:(株)INAX総合技術研究所サステナブル研究室 (株)LIXIL WTJデザイン・新技術統括部ものづくり工房 専門:プロダクトデザイン・陶磁器デザイン 活動:2002年第6回国際陶磁器展美濃陶磁器デザイン部門グランプリ受賞、2014年第10回開催時には審査員となる。日本陶磁器デザイン協会に所属し、大学院研究室では人間の生活と陶磁器デザインの中で一人ひとりの持つ素質と個性に合わせた指導で産地との連携や産学協同の仕組みなどによるリアルなものづくりを覚えデザインできる事を目指し。また、国際交流や発表の場を通して異なる文化や考え方を持つ人々と疎通し、自分の世界観を広げ将来の目標をつかむきっかけとなる指導を行っている。</p>
ヨシオカ ソウイチロウ 吉岡 總一郎	株式会社陶香堂 代表取締役	<p>東京都出身。 他業種を数社経て2009年株式会社陶香堂入社。 2019年より現職。 昭和11年に創業、宮内庁御用達として長きに渡り、宮中へ納入。全国の飲食店、ホテル、寺社など幅広い販路を構えている。実用性を一番に考え、その時代に合わせて商品をプロデュースしている。海外販路開拓中。</p>

ポスターコンクール最優秀賞

佐賀県立有田工業高校 デザイン科 2年 石橋 由菜

「部門別・県別出品数等内訳」

()内は前回分

美術工芸品・オブジェ部門

項目	山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他 国内	海外	合計
出品者数	3 (3)	10 (7)	45 (34)	8 (6)	3 (4)	1 (1)	0 (1)	2 (1)	0 (0)	30 (20)	0 (0)	102 (77)
出品点数	3 (3)	12 (8)	46 (35)	9 (6)	3 (4)	1 (1)	0 (1)	2 (2)	0 (0)	31 (20)	0 (0)	107 (80)
入選点数	2 (3)	10 (8)	33 (30)	5 (5)	1 (3)	0 (0)	0 (1)	2 (2)	0 (0)	20 (15)	0 (0)	73 (67)
入賞点数	0 (1)	1 (1)	11 (7)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (4)	0 (0)	15 (14)

産業陶磁器部門

項目	山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他 国内	海外	合計
出品者数	0 (0)	0 (1)	53 (37)	7 (3)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	64 (44)
出品点数	0 (0)	0 (1)	68 (40)	8 (4)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (2)	0 (0)	82 (48)
入賞点数	0 (0)	0 (0)	12 (17)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	19 (18)

「過去10年間の出品点数」

美術工芸品・オブジェ部門

	第 110 回 H25	第 111 回 H26	第 112 回 H27	第 113 回 H28	第 114 回 H29	第 115 回 H30	第 116 回 H31	第 117 回 R3	第 118 回 R4	第 119 回 R5
出品点数	124	139	120	128	128	127	109	102	80	107
うち佐賀県	75	70	65	69	59	56	47	45	35	46

産業陶磁器部門

	第 110 回 H25	第 111 回 H26	第 112 回 H27	第 113 回 H28	第 114 回 H29	第 115 回 H30	第 116 回 H31	第 117 回 R3	第 118 回 R4	第 119 回 R5
出品点数	184	176	156	111	96	106	103	70	48	82
うち佐賀県	126	110	98	81	67	84	80	64	40	68

第119回有田国際陶磁展 入賞者名簿

『美術工芸品・オブジェ部門』

賞	入賞作品名 (フリガナ)	氏名(フリガナ)	住 所	年 齢
文部科学大臣賞	テンモクセンモンチョウハチ 天 目 線 文 彫 鉢	サワヤマ ダイスケ 澤 山 大 亮	佐賀県西松浦郡有田町	42
2位・佐賀県知事賞	シロタエサイジハチ 白 妙 彩 磁 鉢	ショウムラ ヒサキ 庄 村 久 喜	佐賀県西松浦郡有田町	48
3位・有田町長賞	コウハクセン ミズカゲ フタサンマルフタ 紅 白 鮮 水 影 -2302-	マスハラ カオリ 増 原 嘉 央 理	北海道札幌市	37
4位・有田商工会議所会頭賞	ハクジュウナイサイハチ 白 磁 釉 内 彩 鉢	アカツカ サチエ 赤 塚 幸 恵	佐賀県武雄市	48
佐賀県陶芸協会賞	ユウゾウガンカキ 釉 象 嵌 花 器	ナカオ ジュン 中 尾 純	佐賀県西松浦郡有田町	45
朝日新聞社賞	レンサクナゲキノカベ 連 作 嘆 きの 壁	シマダ トシオ 嶋 田 敏 生	佐賀県西松浦郡有田町	76
熊本放送賞	タ オ ル た お る	ニシオカ アヤナ 西 岡 彩 那	福岡県福岡市	22
佐賀新聞社賞	サイショクゾウガンツボ 彩 色 象 嵌 壺	ナカオ ヤスズミ 中 尾 恭 純	佐賀県西松浦郡有田町	73
サガテレビ賞	カーテン・コール カーテン・コール	オノ タツロウ 小 野 達 郎	佐賀県嬉野市	74
陶業時報社賞	テツゾメセンモンツボ 鉄 染 線 紋 壺	ナカムラ ミホ 中 村 美 穂	佐賀県西松浦郡有田町	39
西日本新聞社賞	デジタルカモフラージュ シホウバチソロエ Digital Camouflage 四 方 鉢 揃	クサバ エイト 草 場 瑛 人	佐賀県西松浦郡有田町	40
日本経済新聞社賞	オオバチ「ユウビ」 大 鉢 「 優 美 」	キシダ リョウ 岸 田 怜	長野県長野市	38
読売新聞社賞	ハクジケズリテハナピラカシキ「ハナユメアソビ」 白磁削手華片菓子器「はなゆめあそび」	タンバ シゲユキ 丹 羽 シゲユキ	北海道札幌市	44
伝統的工芸品産業振興協会賞	ミ ハ ル 海 春	ヤマグチ ヒロコ 山 口 浩 子	佐賀県西松浦郡有田町	56
陶都有田国際交流協会賞	フ ワ フ ワ Fuwa Fuwa	アフラ アイスマ Afra Eisma	佐賀県西松浦郡有田町	30

文部科学大臣賞受賞者プロフィール(美術工芸品・オブジェ部門)

ふりがな 氏名	さわやま だいすけ 澤山 大亮	年齢	42 歳
現住所	佐賀県西松浦郡有田町戸杓丙575番地1		
所属	佐賀県立有田工業高等学校セラミック科 教諭 有田陶芸協会 会員 日本工芸会 準会員		
経歴	<p>平成11年3月佐賀県立有田工業高等学校セラミック科卒業後、九州産業大学芸術学部にて日本工芸会正会員、伊万里・有田焼伝統工芸士の梶原茂正先生からロクロの指導を受ける。</p> <p>平成23年 第58回日本伝統工芸展 入選 平成29年 第114回有田国際陶磁展 美術工芸・オブジェ部門 読売新聞社賞 令和 元年 第69回佐賀県美術展覧会 工芸部門 NBCラジオ佐賀賞 令和 2年 第70回佐賀県美術展覧会 工芸部門 佐賀県知事賞(工芸一席) 令和 3年 第68回日本伝統工芸展 入選 令和 3年 第71回佐賀県美術展覧会 工芸部門 佐賀県知事賞 県展大賞 (最高賞) 令和 4年 第50回伝統工芸陶芸部会展 日本セラミックス協会賞</p> <p>その他入選公募展 ・西部伝統工芸展 ・有田国際陶磁展 ・佐賀県美術展覧会 他</p>		

第 119 回 有田国際陶磁展
美術工芸品・オブジェ部門 審査評

審査長 花里 麻理

2023年の春、コロナ禍の今後を軽々には言葉にできないところではありますが、それでも私たちの気持ちは、長く続いた耐える時間を終わらせて、前を向きたい気持ちに満ちています。そのような明るい気持ちを心に抱きつつ、第 119 回有田国際陶磁展がこのたび実施されますことを心からお慶び申し上げます。

今回の美術工芸品・オブジェ部門の応募は、前回から 27 点増えまして全部で 107 点を数えました。この数字は、第 116 回の 109 点、第 117 回の 102 点に近く、コロナ禍前の水準に戻ったと言えるように思います。

審査には 3 名の審査員があたり、一次審査は各審査員が 30 点ずつを選ぶことからはじめ、合議を経て 73 点の入選作品を決定いたしました。二次審査では、一次審査の得票数を踏まえ、合議の上、授賞候補作品 17 点を選出し、15 点の入賞作品を決定いたしました。いずれも素材や形への探究心に満ちた創意あふれる見応えのある作品です。

第一席の文部科学大臣賞を受賞した澤山大亮さんの《天目線文彫鉢》は、天目釉の力強さと優美な形状とを見事に組み合わせた作品です。鉢の外側にほどこした彫文と線文とが天目釉の表情にリズムをもたらしています。その一方で、見込みには細やかな結晶が茫洋と広がり、宇宙を感じさせます。

第二席の佐賀県知事賞を受賞した庄村久喜さんの《白妙彩磁鉢》は、内側から光を発しているかのように見える独特の光沢感を持つ作品です。器の内外にほどこした彫りの深さを絶妙に変えているため、光と影の表情が複雑みを持って冴え、四方にアクセントをつけた形状と調和しています。

有田町長賞を受賞した増原嘉央理さんの《紅白鮮 水影 -2302-》は、ゆったりとした鉢の形状を細かな紅白の模様で覆っています。水面を照らす陽光のきらめきを紅白に見立てた大胆さも見所です。

有田商工会議所会頭賞の赤塚幸恵さんの《白磁釉内彩鉢》は、青のグラデーションと銀色の点描を丹念にほどこした優しげな印象の作品です。この控えめな表情が審査員の心を掴みました。

審査は、難しくもありますが、出品者の方々の創意工夫に出会える、またとない貴重な時間です。入選、入賞の方々が、素材の魅力や制作過程の高揚感を形にまとめあげた成果を、ぜひ、展覧会で皆様にご覧いただきたく思います。次回も充実した公募展になりますよう願っています。

第119回 有田国際陶磁展 『美術工芸品・オブジェ部門』上位入賞作品

文部科学大臣賞



二位 佐賀県知事賞



三位 有田町長賞



四位 有田商工会議所会頭賞



佐賀県陶芸協会賞



産業陶磁器部門				
入賞者名簿				
賞	フリガナ 入賞作品名	フリガナ 氏名	住 所	年 齢
経済産業大臣賞	リュウボク テーブルウェアセット 流木 テーブルウェアセット	デリカド DELICADO	佐賀県西松浦郡有田町	45
2位・佐賀県知事賞	カキ ソメツケサンスイモンカン 花器（染付山水文缶）	モチヅキ ユウ 望月 優	長崎県東彼杵郡波佐見町	43
3位・有田町長賞	ジュウバコ 重箱	イマムラ ケンイチ(トウエツガマ) 今村 堅一(陶悦窯)	佐賀県西松浦郡有田町	56
4位・有田商工会議所会頭賞	ルリナガシ・スイビョウ 瑠璃流し・水描	ハラダ ヨシヤス 原田 吉泰	佐賀県西松浦郡有田町	41
技能賞	リン マーブル オールド 麟 Lin Marble Old	キンショウドウ カネコ シンジ 金照堂 金子 真次	佐賀県西松浦郡有田町	62
朝日新聞社賞	ニヤスリート カキ ニヤスリート 花器	フラワーズ トガワ ミドリ FLOWERS 戸川 みどり	佐賀県西松浦郡有田町	56
熊本放送賞	ポタカップ pota cup	オカムラ ヒトミ 岡村 瞳	岐阜県土岐市	24
佐賀新聞社賞	サカナガタソメツケサンスイ 魚型染付け山水	ナガレカワ ユキヒコ 流川 幸彦	佐賀県西松浦郡有田町	67
サガテレビ賞	ジュヨウライカ 樹葉蕾花	モロクマ ヨウスケ 諸隈 洋介	佐賀県西松浦郡有田町	58
陶業時報社賞	ナベシキ なべ敷	ナカムラ ハルミ 中村 温美	長崎県五島市	55
西日本新聞社賞	チョウモン アサバチゾロイ 彫文 浅鉢揃い5点もの	シマダ トシオ 嶋田 敏生	佐賀県西松浦郡有田町	76
日本経済新聞社賞	ソメツケツルシッポウダエンクミバチ 染付つる七宝楕円組鉢	ハシグチ ヒロユキ ユウゲンガイシャシンガマ 橋口 博之(有)しん窯	佐賀県西松浦郡有田町	58
読売新聞社賞	セラヒナ サラサ セラヒナ(更紗)	ケイザンガマ シノハラ ユミコ 溪山窯 篠原 祐美子	佐賀県西松浦郡有田町	45
伝統的工芸品産業振興協会賞	ブライト オーキッド bright orchid	カブシキガイシャ コウランシャ フカガワ ユウジ 株式会社 香蘭社 深川 祐次	佐賀県西松浦郡有田町	65
有田焼卸団地協同組合賞	ドレープ アンドン DRAPE 行灯	ナカハラ マキ 中原 真希	長崎県大村市	51
佐賀県陶磁器工業協同組合賞	レイヤーカップ layer cup	ワタナベ タイセイ 渡邊 泰成	千葉県柏市	26
佐賀県陶磁器商業協同組合賞	イロエヒョウセツペンギンモン 色絵氷雪ペンギン文	カワムラ タダシ 川村 正	佐賀県武雄市	66
肥前陶磁器商工協同組合賞	ヨセイタワザラ マル/シカク 寄せ板和皿 丸/四角	サイキ トシヒデ 齋木 俊秀	岐阜県土岐市	72
陶都有田国際交流協会賞	ハモンコーヒーセット 波紋コーヒーセット	チョ ジェヒョン 趙 幸瑩	愛知県名古屋市	31

経済産業大臣賞受賞者プロフィール(産業陶磁器部門)

ふりがな 氏名	でりかど DELICADO	年齢	45 歳
現住所	佐賀県西松浦郡有田町幸平2-1-8		
勤務先	同上		
勤務先住所	同上		
経歴	副島健太郎をディレクターに2021年にライフスタイルブランドとしてDELICADOを立ち上げ。様々な分野で活躍するアーティストとのコラボレーションと有田焼の伝統技術を元に、世の中に向け新しいクリエイションを発信するブランドとして活動。今回、日常にアートをテーマにデザインしたテーブルウェアを展開。		

第 119 回 有田国際陶磁展
産業陶磁器部門 審査評

審査長 崔 宰熏

アフターコロナを迎え、人々のライフスタイルや価値観は大きく変化した。SNS による個人消費の拡大や流通のダイレクト化、新素材の開発やデジタル技術による自由度の高い表現など、陶磁器産業にも大きな影響をもたらした。これらの状況を踏まえ、今回の出展作品に出会えることを楽しみに審査に入った。

産業陶磁器部門では、64 名の出品者による 82 点の作品が応募された。前回に比べると出品点数は大幅に増加し、クォリティーが高く、また、多様化する生活者の価値観を捉え、陶磁器産業に新たな兆しを感じさせる作品を多く見る事ができた。

経済産業大臣賞に輝いた《流木 テーブルウェアセット》は、白マット釉に上絵転写を施した作品で、黒のタッチで描いた流木の先端に花のような色を挿すことで、生命を吹き込んでいる。四枚組で一つの絵になるプレートは、一枚ずつでも料理やシチュエーションに合わせて楽しむことができる。裏側にまで手を掛けた遊び心溢れる作品である。

佐賀県知事賞の《花器(染付山水文缶)》は、作者のコメントに「一つで美しくめぐる器として制作」したものと書かれている。大量生産される缶詰をモチーフに、伝統技法である染付で山水文を描いた作品。そのギャップがまたユニークである。この器に花を飾り眺めるとき、時代に対するメッセージを感じ取れるだろう。

有田町長賞を受賞した《重箱》は、自由な組み合わせで、食卓をより一層楽しめる四つ組のデザイン。表情豊かな黒マット釉と金・銀彩の調和は晴れの日の宴を飾るのに相応しい。天草陶土を再利用したサステナブルな器で現代らしい作品である。

今年より新設された有田商工会議所会頭賞の《瑠璃流し・水描》は、量産のプレートに瑠璃を重力や引力を用いて濃淡を描いたもので一つも同じ模様はない。余白も十分に使えるため、料理の盛り付けも楽しむことができ、器を躍動的に見せることができる。

昨年、有田を訪問した際、それぞれの窯元が持つノウハウと強みを活かし、新たに挑戦するスピリッツを強く感じた。また、伝統をリスペクトし、さらに進化させていく取組みを垣間見ることができた。

本展の開催目的である技術の競争と知識の増進は勿論、使う側と作る側、伝える側、商う側が互いに交流を深め、暮らしを豊かにする提案の場として発展し続けることを願う。今後、益々幅広い参加者が集い、多様な作品が互いを刺激し合う国際コンペとして、産業陶磁器の更なる発展に貢献するものとなることを期待する。

第119回 有田国際陶磁展 『産業陶磁器部門』上位入賞作品

経済産業大臣賞



二位 佐賀県知事賞



三位 有田町長賞



四位 有田商工会議所会頭賞



技能賞



●表彰式

日時 2023年4月28日(金) 13時30分～

場所 佐賀県立九州陶磁文化館(佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1)

表彰式招待予定者

美術工芸品・オブジェ部門(1位、2位、3位、4位、佐賀県陶芸協会賞の受賞者)

産業陶磁器部門(1位、2位、3位、4位、技能賞の受賞者)

ポスターコンクール最優秀賞の受賞者

※その他の受賞者の方は、賞状、副賞を郵送いたします。

●作品の展示

会期 2023年4月29日(土)～5月7日(日)

場所 美術工芸品・オブジェ部門

佐賀県立九州陶磁文化館(佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1)

内容:美術工芸品・オブジェ部門の入選・入賞作品、招待作品の展示

産業陶磁器部門の1位～4位受賞作品と同じ作品の展示

産業陶磁器部門

佐賀県陶磁器工業協同組合(佐賀県西松浦郡有田町外尾町丙1217)

内容:産業陶磁器部門の全作品、招待作品の展示